



・選んだテーマ

1. 組織基盤の強化や事業の見える化・効率化で上手くいった事例

・資金分配団体名

中国5県休眠預金等活用コンソーシアム
構成団体 NPO法人やまぐち県民ネット21

・発表者のお名前

伊藤 彰

今回取り上げる事例について（基礎情報）

基礎情報は
スライド1～2枚の分量を
目安としてください

■ 資金分配団体事業の概要

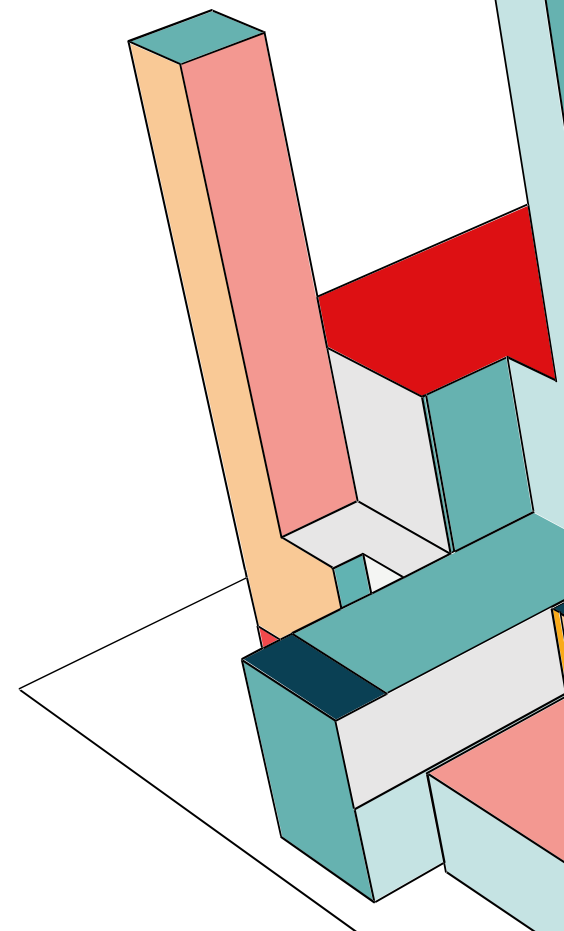
○ 中国 5 県休眠預金活用コンソーシアム

5 県共通テーマ：『多様な格差』『連帯・協働の不十分さ』『市民セクターの力不足』の解決を目的として事業を実施。

○ 各県テーマ（山口県の場合）／ 助成対象となる事業

地域に関わる若者や移住者、地域住民が暮らし続けられるコミュニティづくり

今回の取組みを持続可能な仕組みとするために、事業に関するハード（施設や備品）整備を行いつつ、課題解決の拠点や体制、ネットワークづくりを図る活動



■ 実行団体が行う事業の概要 ： 特定非営利活動法人ほほえみの郷トイトイ

①「コミュニティラボ」の設置・運営

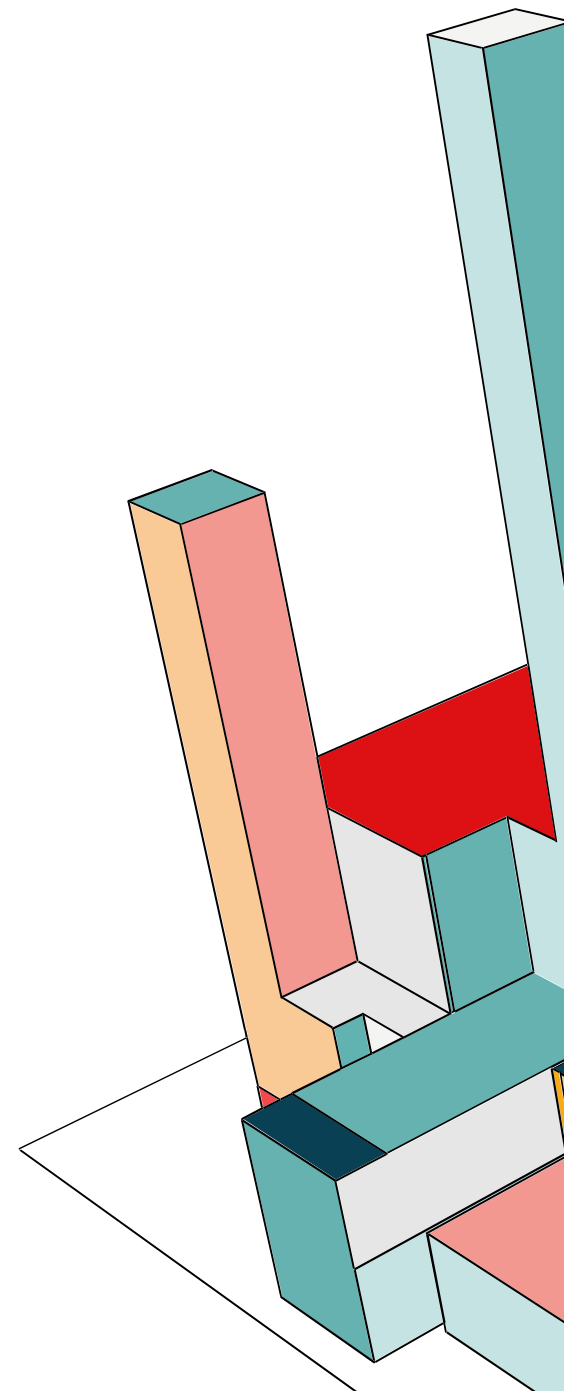
→ 地域住民等がまちづくりに関するアイデアを寄せ、協議する拠点

②地域移住に関する情報（空き家・仕事）収集・発信

→ 専門サイトの構築、相談対応

③中山間地域で起業する若者のためのソーシャルビジネススクール開催

④地方の暮らし体験、農村体験留学の受入れ



今回取り上げる事例について

事例の概要は
スライド2~3枚の分量を
目安としてください

・いつ誰が誰に対してどんなことを行ったか

- ①休眠事業開始時点から／P Oが／実行団体に対して／基盤強化支援
規程作成・規程に沿った運営助言、後回しになりがちな基本手続きの整備支援
- ②事前評価・中間評価時点／評価専門家が／実行団体に対して／事業の明確化支援
例) 関係人口の増加 → ターゲットの精査、関係を増やしたい人物像の具体化

・それによって起きたこと

- ①まだ、明確な事態の変化に至らず...
- ②事業実施の方向性が変化 例) H P の単独作成→行政との協働で作成運営

・伴走で悩んだことや工夫したことはあったか

- ①【悩み】運営基盤の改善に向けた「動き」をどう促すか

事例から得た学びや皆さんに伝えたいこと

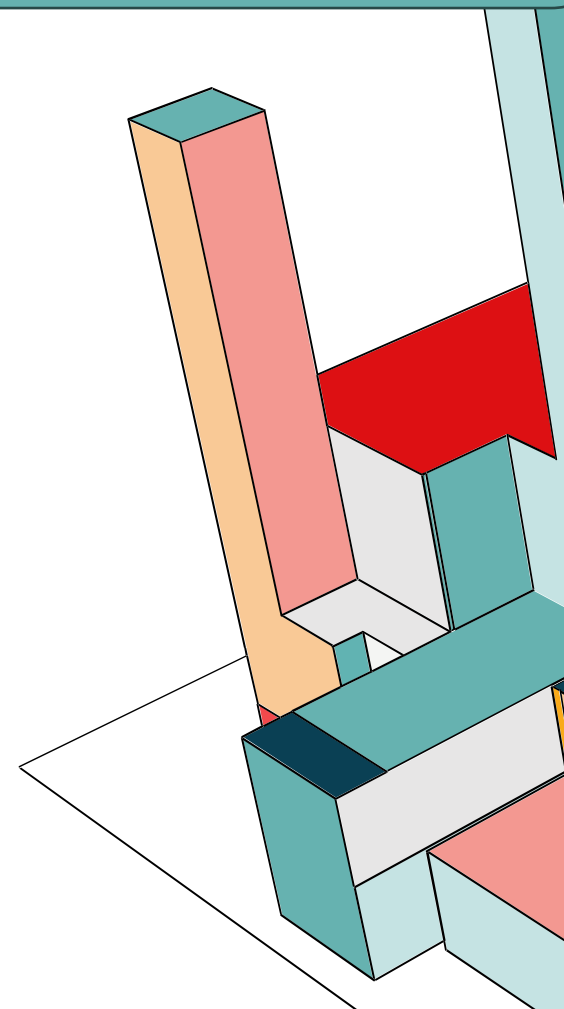
事例から得た学びは
スライド2~3枚の分量を
目安としてください

「この事例に対して〇〇なヒントが欲しい」
といった呼びかけも大歓迎です

■【ヒントがほしい】

- ・実行団体は、高いレベルで個別事業の遂行に全力を尽くす状態
- ・一方で、法人運営に関する取組みが後回しになりがち
- ・運営の現行体制を持続可能なものにするため、休眠事業で新スタッフ体制づくりを試みるも、やはり事業への従事がベースとなり・・・

→ 法人運営の基盤強化や体制改善に向けた「余力」がない団体の状態に対して、改善を促すには・・・？



写真など参考画像があれば



「コミュニティ・ラボ」活用の様子



農村体験説明会の様子

発表者・団体の連絡先

伊藤 彰

083-934-4666

yamaguchikenminnet@gmail.com

<https://www.kenmin.pref.yamaguchi.lg.jp/>

最後のPO研修ですので
近しい事業同士や
地域が近い団体同士でのつながりを
作る場としてもぜひご活用ください！